

**Sikaflex®**

1成分形ポリウレタン系シーリング材  
[高耐候性]

# シーカフレックス® PRO-2UV土木



**Sikaflex® PRO-2UV土木**

CATALOG No. SJSB-24

BUILDING TRUST



1成分形ポリウレタン系シーリング材 [高耐候性]

# シーカフレックス® PRO-2UV 土木



**荷 姿：**320mlカートリッジ×20本/箱、400mlソーセージ×20本/箱、12ℓペール缶

**ホルムアルデヒド放散量区分：**JSIA-020010 F☆☆☆☆

**主用途：**U字溝等農業用水路の目地、土木用コンクリート2次製品（共同溝、ボックスカルバート、防火水槽等）の目地、耐久性を要求される道路高架橋等の目地、各種現場打ちコンクリートの打継ぎ・誘発目地、防水工事の端末処理等

**留意点：**湿気硬化タイプであるため、高・低温時の硬化性に注意してください。

**プライマー：**プライマー80

## 特 長：

- 農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル【開水路補修編】(案)目地充填工法の品質規格に適合しています。（農林水産省農村振興局整備部設計課施工企画調整室）
- 1成分形のため混合が不要です。
- サンシャインウェザーメーター照射2,000時間経過後でも表面クラックが有りません。
- 無発泡のため、施工のトラブルはありません。
- 糸引きが短く、ヘラ仕上げが良好です。
- 動的疲労に優れます。
- 耐久性区分9030相当です。

## 耐候性比較試験

サンシャインウェザーメーター照射2,000時間後の表面写真（20倍）

### シーカフレックス® PRO-2UV 土木



クラックはまったく発生していない。

### 一般品変成シリコン系シーリング材



微細なクラックが発生し始めている。  
一般的に変成シリコンは1,000～2,000時間でクラックが入り始める。



性 状

項目	内容:結果	
外観	ペースト状 (ライトグレー)	
有効期間(月)	9	
押し出し性(秒)	5℃	8
	23℃	3
指触乾燥時間(23℃・分間)	100	
密度(g/mL)	1.24	

JIS A 5758に基づく性能

項目	内容:結果		
JIS A 5758クラス	F-25LM-9030相当		
スランプ(mm)	縦	50℃	0
		5℃	0
	横	50℃	0
		5℃	0
弾性復元性(%)	95		
被着体			モルタル
引張応力(N/mm <sup>2</sup> )	23℃	0.30	
	-20℃	0.39	
定伸長下での接着性	23℃	NF	
	-20℃	NF	
圧縮加熱・引張冷却後の接着性	NF		
水浸せき後の定伸長下での接着性	NF		
体積損失(%)	<0.5%		
耐久区分	9030相当		

「-」は項目外、「NF」は破壊なしを示します。

H型引張接着性<sup>※</sup>

被着体	条件	応力・伸び		50%引張応力 N/mm <sup>2</sup>	最大引張応力 N/mm <sup>2</sup>	最大荷重時の 伸び(%)
		条件	23℃			
モルタル	養生後	23℃	0.24	0.63	792	
	加熱後	23℃	0.19	0.46	813	
	水浸せき後	23℃	0.19	0.59	883	

※ JIS A1439に準拠し、数値は代表値です。プライマーNo.80使用

農業水利施設の補修・補強工事に関するマニュアル【開水路補修編】(案)  
目地充填工法の品質規格の試験結果

試験項目	品質項目	試験結果	品質規格値		
基本的性能	耐候性	紫外線による劣化	3体とも膨れ、ひび割れ、剥がれはなかった。	膨れ、ひび割れ、剥がれがないこと。	
	付着性	伸び率	標準条件	648%	100%以上
			水中条件	491%	60%以上
			低温条件	720%	100%以上
	止水性	水圧による漏水	漏水は認められなかった。	漏水が認められないこと。	
	伸縮追従性	伸縮による剥離・破断	3体とも剥離・破断はなかった。	剥離・破断のないこと。	
	耐水性	吸水率	1.0%	10%以下	
	形状安定性	50%モジュラス	0.37N/mm <sup>2</sup>	0.2N/mm <sup>2</sup> 以上	

(一財) 建材試験センターで試験実施

ソーセージタイプ

環境に負荷の少ないパッケージ

シーカは「EHS」(Environment, Health, Safety=環境、健康、安全)をスローガンとするエコロジー思想を経営の柱に掲げ、生態系に優しい製品づくりに全力で取り組んでいます。

- ◎品質安定 包装の技術革新で品質安定
- ◎廃材の減少 ゴミを最小限に抑制
- ◎作業性良好 専用ガンで作業性向上
- ◎後始末も簡単です



製品名	シーカフレックスPRO-2UV土木
主成分	ポリウレタン系
荷姿	400mlソーセージ×20本

ソーセージガン パワフローHP400

◎特長

- ・厳寒地においても押し出しがスムーズなハンドガンで、作業効率が向上します。
- ・ハンドルが360°回転する構造により操作が容易です。
- ・小型軽量でありながら、タフで丈夫なガンです。



沖縄県  
(波照間地区貯水池建設工事)



北海道  
(国附かん排深川第2地区21工区)



# プライマー80

プライマー80はコンクリート・モルタル用、FRPM板用のプライマーです。

塗布することで、シーカフレックスPRO-2UV土木と各種被着体との付着性を高めます。

また、シーカフレックスPRO-2UV土木との組み合わせでは湿潤したコンクリート、モルタル面も使用できます。湿潤面の定義は「湿潤したコンクリートをウェスで拭いた直後の状態」です。



項目		内容
タイプ		1成分形ウレタン系
ホルムアルデヒド放散等級		JSIA F☆☆☆☆
外観		淡黄色透明
主成分		合成樹脂 シランカップリング剤
含有溶剤		酢酸エチル、酢酸ブチル、 メチルエチルケトン
乾燥時間(分)	5℃	60以上
	23℃	30以上
	35℃	15以上
塗布後有効時間(時間)		8
開栓後有効時間(不使用時密栓)		当日内
有効期間(月)		9
主な適用被着体		コンクリート、モルタル、FRPM

## その他の性能

湿潤面対応プライマーの接着性

接着性試験結果

養生	塗布条件	
	乾燥面	水浸せき1日 取り出し直後ウェス拭き
初期	CF100	CF100
耐水	CF100	CF100

試験方法：簡易接着性試験 被着体：モルタル板

プライマー：プライマー80

CF：シーリング材凝集破壊 AF：界面剥離

## 使用方法、注意

- 下地面の水分、ほこり、油脂分などを除去した後、プライマーをはみ出さないように、十分洗浄して乾いたハケで塗布して下さい。プライマー塗布後、所定時間乾燥させた後、8時間以内にシーリング材を施工して下さい。
- プライマー80の使用可能な湿潤面とは、湿潤したコンクリート面の水滴をウェスで除去した直後の状態です。水滴が存在する面、常時水が供給される箇所には使用できませんのでご注意ください。
- 使用後は直ちにフタをして下さい。
- 開封後は当日内に使い切ってください。

## 標準使用量

シーカフレックス1L当たりの概算施工メーター数

目地幅(mm) 充填深さ(mm)	6	8	10	15	16	20	25	30	40
6	23.1	17.4	13.9						
8		13.0	10.4	6.9					
10			8.3	5.6	5.2	4.2			
12				4.6	4.3	3.5	2.8		
15					3.5	2.8	2.2	1.8	
20							1.7	1.4	1.0
25								1.1	0.8

ロス率20%を含んだメーター数(条件によって異なることがあります)

プライマー(500ml)当たりの概算施工メーター数

目地幅(mm) 充填深さ(mm)		6	8	10	15	18	20	25	30	40
6	非孔質面/多孔質面	291	291	291						
8	非孔質面/多孔質面		218/109	218/109	218/109					
10	非孔質面/多孔質面		175/87	175/87	175/87	350/174	175/87			
12	非孔質面/多孔質面				145/72	145/72	145/72	145/72		
15	非孔質面/多孔質面					116/58	116/58	116/58	116/58	
20	非孔質面/多孔質面							87/43	87/43	87/43
25	非孔質面/多孔質面								70/35	70/35

ロス率20%を含んだメーター数(条件によって異なることがあります)



## 施工方法

施工準備	<ul style="list-style-type: none"><li>・寸法、下地の状況(豆板、亀裂など)が施工に適しているかを調査して下さい。</li><li>・副資材の選定をして下さい。</li><li>・十分に乾燥させた後に施工して下さい。</li></ul>
目地の清掃	<ul style="list-style-type: none"><li>・接着不良を防止するため油分、ほこりなどはアルコールを含まない溶剤で清掃して下さい。</li></ul>
バックアップ材装てん	<ul style="list-style-type: none"><li>・二面接着の場合は、目地に適したバックアップ材を使用して下さい。</li><li>・適切な目地深さが取れない場合は、目地底にボンドブレイカーを使用し三面接着を避けて下さい。</li></ul>
マスキングテープ貼り	<ul style="list-style-type: none"><li>・シーリング材の接着面にマスキングテープが食込まないように貼って下さい。</li><li>・マスキングテープは粘着剤の残らないものを選んで下さい。</li></ul>
プライマーの塗布	<ul style="list-style-type: none"><li>・塗り残し、塗リムラのないように塗布して下さい。</li><li>・プライマー乾燥後(1時間/23℃を目安として下さい)シーリング材の充てんはその日の内に行ってください。</li><li>・コンクリートの湿潤面に施工する際は、水滴をウエスで十分に拭き取ってからプライマーを2度塗りして下さい。</li></ul>
カートリッジ、ソーセージパックの装てん、シーリングガンへの吸い込み	<ul style="list-style-type: none"><li>・カートリッジ、ソーセージパックをそれぞれ対応するガンに装てんして、目地幅に合わせてノズルをカットして下さい。</li><li>・ペール缶をシーリングガンで施工する際には、シーリングガンへシーリング材を充てんする際にエアーを巻き込まないように十分に注意して下さい。</li></ul>
シーリング材の充てん	<ul style="list-style-type: none"><li>・目地底にノズルを押当て、すきまを設けないように充てんして下さい。</li></ul>
ヘラ仕上げ	<ul style="list-style-type: none"><li>・シーリング材充てん後は、すみやかにヘラで平滑に仕上げてください。</li></ul>
マスキングテープ除去	<ul style="list-style-type: none"><li>・ヘラ仕上げ後は、すみやかにマスキングテープを除去して下さい。</li></ul>
清掃	<ul style="list-style-type: none"><li>・目地の周辺部に付着したシーリング材はすみやかに拭き取って下さい。</li></ul>

## 注意

施工上の注意	<ul style="list-style-type: none"><li>・被着体がぬれている場合は施工を避け、十分に乾燥したことを確認の上施工して下さい。</li><li>・降雨、降雪時の施工は避けて下さい。</li><li>・施工時の温度、湿度が高い場合や下地に水分を含んでいると発泡する恐れがあります。</li><li>・シーリング材を充てんする前に必ず被着体の表面の油、ゴミなどアルコールを含まない溶剤を浸したウエスなどできれいに清掃して下さい。</li><li>・施工前に必ずプライマーを塗布して下さい。</li><li>・施工後に塗装する場合、表面硬化後から1週間以内にできるだけ早く行って下さい。</li><li>・シリコン系シーリング材、変成シリコン系シーリング材との同時施工は避けて下さい。</li><li>・塗料の種類、施工条件によっては付着に差がでる場合がありますので、ご確認の上ご使用下さい。特に油性やフタル酸系(アルキッド樹脂)塗料は適しません。</li></ul>
その他の情報	<p>ここに記載されている内容は、一般的な情報です。具体的な施工に関するアドバイスは、シーカ・ジャパン(株)テクニカルサービスにお問い合わせください。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・安全データシート(SDS)</li></ul> <p>データについて</p> <p>このプロダクトデータシートに記載されたすべての技術データは、研究所でのテストを基にしています。実際の測定データは、当社ではコントロールできない環境の相違のために異なる可能性があります。</p> <p>健康と安全に関する情報</p> <p>化学製品の安全な運搬・作業・保管・廃棄を行うために、物質、環境、毒性その他の安全性に関する情報が記載された安全データシートの最新版を、必ずご確認ください。</p>
保管	<ul style="list-style-type: none"><li>・直射日光、火気、湿気、水を避け、5℃以上25℃以下の冷暗所に保管して下さい。</li></ul>

※本カタログ記載商品は改良のため、仕様は予告なく変更させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。  
本書の記載データ、数値などは当社にて測定した代表値を示したものであり保証値ではありません。

免責事項：シーカ製品の施工および使用に関する推奨その他の情報は、当社の現時点での知識および経験に従ったものであり、通常の条件下で当社の推奨に従い適切に保管・処理・施工されることを前提としております。実際には、材料・接着面・現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面による推奨その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また法的関係に基づく責任を生じさせるものではありません。ユーザーは、シーカ製品がユーザーの意図する施工方法および目的に適しているかどうかを、必ず事前に確認してください。特に、施工、施工管理及び施工に関する報告書の作成はユーザーの責任において行うものであることにご留意ください。当社は、第三者の財産権を尊重し、製品の特性を変更する権利を有します。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注します。ユーザーは常に、使用する製品のプロダクトデータシート及び実施する施工方法についての施工要領の最新版をご参照ください。プロダクトデータシート及び実施する施工方法についての施工要領の最新版は、ご請求いただければ当社がご提供いたします。

2023.12.1,000 SJ TMSB

シーカ・ジャパン株式会社

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-2-7 赤坂Kタワー7F  
TEL: 03-6434-7291  
<https://www.sika-japan.com/>



BUILDING TRUST

